

高等学校日语教材

日本 经济 入门

图解
日语!

にゅうもんけいざい
编著・连业良

大连理工大学出版社



中華人民共和國
文化部

高等学校日语教材

图解日语

日本经济入门

にゅうもんけいざい

连业良 编著

大连理工大学出版社

© 连业良 2005

图书在版编目(CIP)数据

图解日语：日本经济入门 / 连业良编著. —大连：大连理工大学出版社，2005. 8

高等学校日语教材

ISBN 7-5611-2899-1

I. 图… II. 连… III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 078552 号

大连理工大学出版社出版

地址：大连市凌水河 邮政编码：116024

电话：0411-84708842 传真：0411-84701466 邮购：0411-84707961

E-mail: dutp@dutp.cn URL: http://www.dutp.cn

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸：140mm×203mm 印张：10.25 字数：241 千字

印数：1~3 000

2005 年 8 月第 1 版

2005 年 8 月第 1 次印刷

责任编辑：王佳玉 李 丽

责任校对：陈 澄

封面设计：连婷婷

插 图：连婷婷

定 价：16.80 元

前　　言

随着改革开放的不断深入，我国经济有了突飞猛进的发展。近年来，诸多外国的企业、金融业、软件业、服务业等都纷纷涌入中国市场，竞相投资。其中尤其是近邻日本投资的企业越来越多。因此，多年来学习日语的人一直是有增无减。与日本人打交道，在日本的企业、公司里工作的机会多了，人们普遍会感到，当今不仅需要语言学习，更需要用日语了解和掌握一些有关经济等方面的知识。二者兼备将会为自身在日本企业、公司的发展开拓更为有利的空间。

本书的主要内容参考多年来在日本畅销的一套介绍经济、贸易等方面基础知识的丛书。为了便于学习、掌握，对文中相对较难理解的词汇及一些专业术语进行了注释。本书中有的内容是借鉴国外的一些做法，目的在于使读者对其他国家的经济活动规律能形成初步的认识。

本书适合日语专业本科高年级学生的必(选)修课使用，更适合有一定日语基础的人自学使用。通过本书的

学习,若能对各位学习者现在或今后的工作有所帮助的话,那将是编者最大的欣慰。

经济、贸易等都是一些广阔的领域,本书作为基础的基础,所涉及的面是极其有限的,编写的主要目的是让读者对这些方面能有一个简单的了解。另外,由于编者水平有限,难免会有错误和不当之处,恳切希望专家、读者批评指正。

编 者

2005年5月

目 录

第一部分 経 济

| | |
|-------------------|----|
| 1. “経済”とは何だろう | 2 |
| 2. 経済を動かす三つの力 | 6 |
| 3. 小さい視点で経済を見ると | 10 |
| 4. 大所高所から経済を見ると | 14 |
| 5. 経済のフローとストックとは | 18 |
| 6. GDP、GNIとは | 22 |
| 7. 本当の豊かさを表す指標とは | 26 |
| 8. 個人消費の見方 | 29 |
| 9. 設備投資の見方 | 33 |
| 10. 輸出変動の見方 | 38 |
| 11. 消費の新しい潮流 | 42 |
| 12. 蓦らしやすさを感じるには | 46 |
| 13. 貯蓄はどう使われるか | 49 |
| 14. 政府の経済的役割とは | 53 |
| 15. インフレ、デフレとは | 58 |
| 16. 市場経済と計画経済 | 63 |
| 17. 世界はひとつ、経済もひとつ | 67 |
| 18. 様々な国際機関の役割 | 72 |

第二部分 貿 易

| | |
|--------------------------|-----|
| 1. モノの貿易、サービス貿易とは | 78 |
| 2. 国際収支とは何か | 80 |
| 3. 資本収支とは何か | 83 |
| 4. プラント輸出とは | 86 |
| 5. 海外市場調査のあらまし | 89 |
| 6. 契約までの予備的交渉のあらまし | 91 |
| 7. 契約書の作成と留意点 | 94 |
| 8. 税関とはどういうものか | 97 |
| 9. コンテナ輸送のしくみ | 99 |
| 10. 複合輸送とは何か | 102 |
| 11. 船積書類とはどういうものか | 105 |
| 12. 貿易保険とは何か | 108 |
| 13. 海外投資保険とは | 110 |
| 14. 為替変動保険とは | 114 |

第三部分 金 融

| | |
|------------------------|-----|
| 1. お金はどのように生まれるか | 116 |
| 2. お金の役割ってなんだろう | 119 |
| 3. 金融機関の役割とは | 123 |
| 4. 金融のリスクの種類は | 127 |
| 5. 銀行の基本的な三つの機能 | 130 |
| 6. 金融市场とは | 134 |
| 7. 銀行市場と証券市場 | 138 |
| 8. 金利はどのように決まるのか | 141 |
| 9. 金融政策の効果はあるか | 144 |
| 10. 変動相場制とは | 149 |
| 11. 将来、銀行はどうなるか | 152 |

第四部分 外 汇

| | |
|---------------------------|-----|
| 1. 外国為替とは何か | 158 |
| 2. 外国為替レートが表わすもの | 160 |
| 3. 外国為替レートはなぜ動くのか | 164 |
| 4. 外国為替取引のリスクとは | 166 |
| 5. 外国為替相場とは | 169 |
| 6. 外国為替市場とは | 171 |
| 7. 東京外国為替市場の特徴 | 174 |
| 8. ロンドン外国為替市場の特徴 | 176 |
| 9. ニューヨーク外国為替市場の特徴 | 179 |
| 10. 輸出入と外国為替レートの関係 | 182 |
| 11. 原油価格と外国為替レートの関係 | 184 |
| 12. 株価と外国為替レートの関係 | 188 |
| 13. 戦争と外国為替レートの関係 | 191 |

第五部分 股 票

| | |
|---------------------|-----|
| 1. 株式売買の目的は | 196 |
| 2. 株式市場と世界経済 | 199 |
| 3. 株式市場とは | 202 |
| 4. 証券取引所とは | 205 |
| 5. 証券会社は何をするの | 208 |
| 6. 株価は何で決まるの | 212 |

第六部分 税 金

| | |
|--------------------------|-----|
| 1. 税金はなぜとられるの | 218 |
| 2. 税金はどう使われるか | 221 |
| 3. 個人の税金、所得計算のあらまし | 225 |
| 4. 法人税計算のあらまし | 229 |

| | |
|------------------------|------------|
| 5. 源泉徴収ってなに | 233 |
| 6. 消費税のしくみは | 236 |
| 7. 酒とタバコの税金のしくみは | 239 |
| 8. 関税とはどういうものか | 241 |
| 9. 一般特惠関税とは | 245 |
| | |
| 第七部分 経 营 | |
| 1. 会社にはどんな種類がある | 250 |
| 2. 取締役は何人必要なのか | 253 |
| 3. 会社の寿命は何で決まる | 257 |
| 4. 経営のはたらきとは | 261 |
| 5. 経営資源をどう使うか | 264 |
| 6. 経営戦略はなぜ必要か | 267 |
| 7. 経営計画をどう立てるか | 271 |
| 8. 成長戦略とはどんな戦略か | 275 |
| 9. 競争戦略とはどんな戦略か | 279 |
| 10. シェア拡大の基本戦略 | 283 |
| 11. 分社経営のねらい | 287 |
| 12. 効率的な生産方式 | 291 |
| 13. 品質管理はなぜ重要なのか | 295 |
| 14. 税金と会社経営の関係 | 299 |
| 15. 経営に必要な情報化とは | 302 |
| | |
| 用語解釈の索引 | 306 |
| 主要参考書目 | 316 |

◆ ◆ ◆
第一部分

1. “経済”とは何だろう
2. 経済を動かす三つの力
3. 小さい視点で経済を見ると
4. 大所高所から経済を見ると
5. 経済のフローとストックとは
6. GDP、GNIとは
7. 本当の豊かさを表す指標とは
8. 個人消費の見方
9. 設備投資の見方
10. 輸出変動の見方
11. 消費の新しい潮流
12. 暮らしやすさを感じるには
13. 貯蓄はどう使われるか
14. 政府の経済的役割とは
15. インフレ、デフレとは
16. 市場経済と計画経済
17. 世界はひとつ、経済もひとつ
18. 様々な国際機関の役割

◆ ◆ ◆
**経
济**

1. 「経済」とは何だろう

限られた資源や資産などをいかにうまく配分するか

●私たちの暮らしの中の経済

経済とは何か？唐突にそう問われたら、多くの人が答えに窮するのではないでしようか？

しかし、私たちは社会の中で生きていく上で、意識的にも無意識的にも経済活動を営んでいます。たとえば、モノを買うのも経済活動ですし、会社で働いてお金を稼ぐことも経済活動です。

モノを買うとは、各個人の限られた予算をうまく配分して欲しいものを手に入れることであり、働いて所得を得るとは、各個人の限られた時間において、得られる所得を見計らいながら、余暇と労働に時間を配分することです。

私たちの周りにあるものは、水や空気、石油などの天然資源から、土地や貯金などの資産、さらには私たちの時間に至るまで、ほとんどのものが有限です。

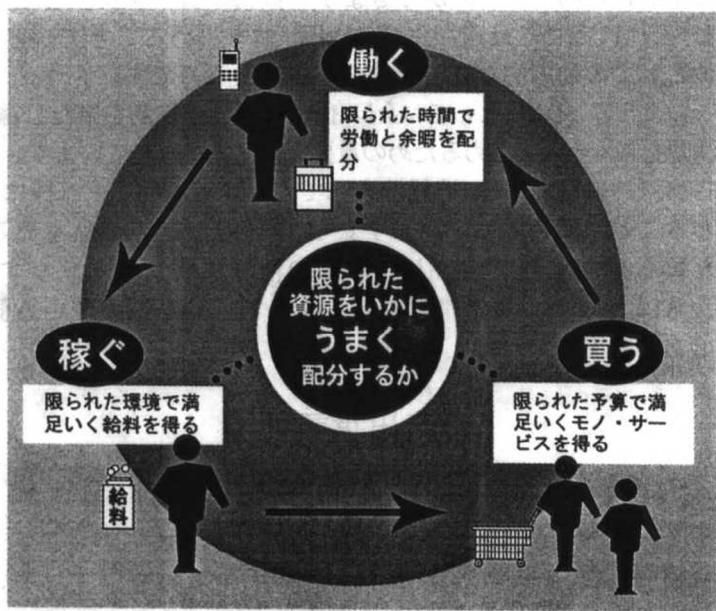
ひと言で経済とは何かを言い表すことは難しいのですが、突き詰めていくとそのエッセンスは「限られた資源や資産などをいかにうまく配分するか」ということに行きつくのではないかでしょうか。

●経済活動の基本原則

では、「限られた資源をいかにうまく配分するか」の中の、「うまく」とはどういうことでしょうか？

その答えは、私たちが何のために経済活動を営むのかを考えてみればわかります。たとえば、モノを買うのは欲しいものを手に入れて満足を得るためにでしょう。また、生産活動に従事する場合、その仕事によってどれだけ多くの満足を得られるか、どれだけ多くの給料を稼げるかを考えて職業を選びます。つまり、個人レベルでの「うまく」とは自分の満足を最も高めること、すなわち、より効率的に行動することなのです。

個人における経済活動



これを企業の立場で考えてみると、企業は利潤を得るために活動しているわけですから、その利潤を最大にするように行動することが効率的ということになります。

主体によって目的は異なりますが、いずれにせよ、その目的を

達成するように、限られた資源を繰り返すのが経済活動の基本原則です。

●経済とお金

経済活動は、必ずしもお金に関わるものではありません。しかし、分業の進んだ現代では、多くの経済活動はお金を通じて行われます。

モノやサービスの価値をお金で測った価格によって、私たちは効率的に行動することができます。価格が需給を反映して変動し、それに応じて最適な生産、支出行動を決めることで、経済全体としての効率的な資源配分が可能となるのです。

このように、経済にとってお金は、価値の尺度の役割を果たし、経済活動をスムーズに進めるための重要な役割を果たしています。

古典派の経済学では、情報はすべての人に「瞬時に」「一様に」伝わることを前提にしています。しかし現実には、商品を売る側と買う側では、その商品についての情報に偏りがあります。私たちは、価格以外にも情報などによって行動を決めている側面もあります。

新出単語

| | |
|---------------|------------------|
| 唐突(とうとつ) | 突然, 唐突, 贸然, 冒昧 |
| 窮する(きゅうする) | 不知如何; 贫困 |
| 無意識(むいしき) | 无意识, 没有知觉 |
| 稼ぐ(かせぐ) | 赚钱, 挣钱, (为赚钱而)劳动 |
| 配分(はいぶん) | 分配 |
| 所得(しょとく) | 所得, 收入 |
| 見計らう(みはからう) | 估计; 斟酌 |
| 天然資源(てんねんしげん) | 天然资源 |
| 貯金(ちょきん) | 存钱, 存款 |

| | |
|-----------------|----------------|
| エッセンス (essence) | 本质, 精华; 精, 香精 |
| 資産 (しさん) | 资产, 财产 |
| 営む (いとなむ) | 经营, 从事 |
| 満足 (まんぞく) | 满足, 满意 |
| 従事する (じゅうじする) | 从事, 搞 |
| 給料 (きゅうりょう) | 工资, 薪水 |
| レベル (level) | 水平, 水准 |
| 効率 (こうりつ) | 效率 |
| 利潤 (りじゅん) | 利润, 红利 |
| 遣り繰り (やりくり) | 筹划, 筹措; 通融(款项) |
| 必ずしも (かならずしも) | 不一定 |
| 価値 (かち) | 价值 |
| 価格 (かかく) | 价格 |
| 需給 (じゅきゅう) | 供求, 需求和供给 |
| 最適 (さいてき) | 最适合, 最适度 |
| 変動 (へんどう) | 变动, 变化 |
| 支出 (ししゅつ) | 支出, 开支 |
| 役割 (やくわり) | 作用, 职务, 任务 |
| スムーズ (smooth) | 顺利, 圆满, 流畅 |
| 情報 (じょうほう) | 情报, 信息, 消息 |
| 偏り (かたより) | 偏向一方, 偏重 |

用語解釈

經濟: 把有限的资源和资产等如何去很好地分配和利用。

經濟活動: 在有限的时间内, 安排好工作与业余的时间; 在有限的环境内, 得到满足的薪水; 在有限的预算内, 得到满足的物质或服务。

經濟學: 研究如何去满足人类物质生活方面的欲望。研究人类经济生活的规律。

2. 経済を動かす三つの力

家計、企業、政府が主体となり、モノ・サービスとお金を交換していく

●家計の役割

私たちは生活する上で、財(モノ)やサービスを消費します。自給自足の世界では、自分で消費する分は自分で生産しますが、分業が高度に進んだ現代では、主に企業によって生産された財・サービスに対して、お金を払って購入します。

財・サービスの購入に必要なお金は、労働力の提供など、何らかの形で生産活動に参加することを受け取ります。つまり、私たちは生産活動に参加し、その見返りに所得の分配を受け、それを財・サービスの購入に支出するという、一連の流れで経済活動を行っています。

こうした個人の経済活動は主に「家計」という一つのまとまった単位で行われます。

●企業の役割

現代では、生産活動はほとんど「企業」を通じて行われています。

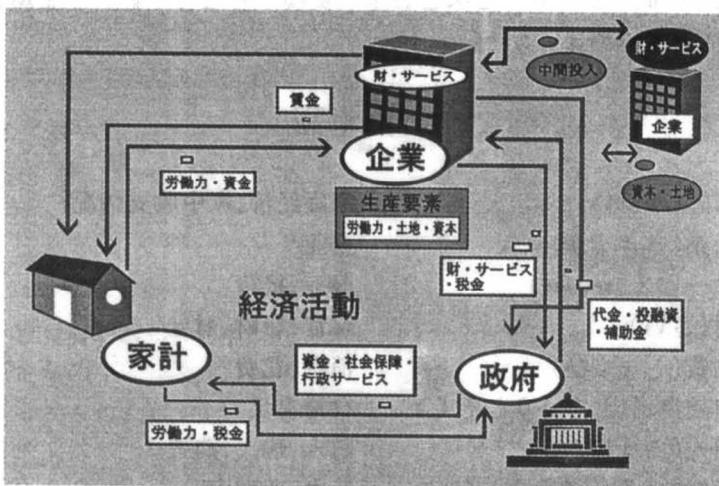
企業は労働力・土地・資本(生産要素)を使って生産活動を行います。労働力は家計から提供を受け、資本・土地は家計や他の企業から調達し、それぞれの生産要素にその対価を支払います。なお、この場合の対価とは、労働力には賃金、資本には利

子、土地には地代が相当します。

企業の生産活動においては他の企業の財・サービスを購入することも行われ、これらは中間投入と呼ばれます。

企業は、生産した財・サービスを家計や企業に販売することで売上を確保し、売上から生産要素の調達や中間投入に必要となった費用を除いた分を利潤とします。その利潤がなるべく多くなるように創意工夫をこらし、売上拡大、費用節約などに努力しているのです。

経済を構成する三つの主体



●政府の役割

経済活動の主な担い手はこの家計と企業ですが、このほかにも「政府」が経済活動に関与してきます。政府の主な経済活動は、行政サービスを生産し、企業や家計に提供することです。

政府は企業と同様、労働力・資本・土地に対し対価を払って